

投稿

「ガリレオ・ガリレ衣」承ります

～400年前のガリレオの追体験をしよう!?!～

通称「僕もガリレオ」プロジェクト 小野 夏子☆

「君もガリレオ」プロジェクト

今年、2009年は、「世界天文年」。かのイタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが、自作の望遠鏡で宇宙を見てから400年目の記念の年です。世界中で、星や宇宙・天文のイベントが行われているのですが、世界天文年の企画は、単に天文イベントということだけでなく、ガリレオ・ガリレイにちなんだイベントも多く企画・開催されていると思います。

中でも「君もガリレオ」プロジェクトは、世界天文年日本委員会の主催企画。「ガリレオの観た宇宙を体験」との副題の通り、400年前にガリレオ・ガリレイが望遠鏡を自作したという辺りから追体験するものです。

ガリレオが宇宙を初めて観察したものと同程度の小型望遠鏡（口径4cm）で天体を観察しようというもので、安価な望遠鏡キットの案内から観察方法の手引き、参加証の発行と至れり尽くせりです。

詳細は、該当のWebページをご覧ください。

■ 「君もガリレオ」プロジェクト

<http://www-irc.mtk.nao.ac.jp/~webadm/Galileo/>

今度は「君もガリレオ」に対抗

そこで、今回のご提案は前述の「君もガリレオ」プロジェクトの対抗企画。題して「僕もガリレオ」プロジェクトです。（ああ、なんと紛らわしい名称でしょう。）

本プロジェクトの趣旨も「400年前のガリレオ・ガリレイを追体験しよう！」というもの。ただし、天体観測ではなく、「ガリレオっぽい衣装を着て、当時のガリレオになりきろう」という形から入る企画です。

ガリレオ・ガリレ衣

ガリレオの肖像画を見ると特徴的な大きな襟の服を着ています。そんな「ガリレオっぽい服を作ったら」と思いついたのは、世界天文年が始まってからのことでした。妹に相談すると「ガリレオっぽく見えれば良いのよね？ 服飾文化史の課題ではないのだから…らしいものなら作れそう」と製作を引き受けてくれました。

職員が天文解説時に着る他、来館者が着用して記念写真撮影。背景にはピサの斜塔、手にはガリレオ望遠鏡という大道具・小道具も用意したいところですね。

この「ガリレ衣」は、今年の日本公開天文台協会（於：さジアストロパーク）や日本プラネタリウム協議会（於：明石市立天文科学館）の会合で、ご披露したので、ご記憶の方もいると思います。

ご利用ありがとうございました。

という訳で早速、宮城県の「仙台市天文台」に購入して頂きました。

また、鹿児島県の「薩摩川内市せんだい宇宙館」でもご利用頂いていただいております。

（両方「せんだい」なのは偶然です。）

「僕もガリレオ」プロジェクト…あなたもいかがですか？（注文承ります。）

